



前期研究報告会

9月14日(木) オンラインに対応しつつ対面にて前期研究報告会を開催しました。島尻教育事務所長、指導講師、所属校長他多くの方々にご参加いただき、これまでの実践研究を伝える事ができました。

研究員の報告書は島尻教育研究所HPでみる事ができます。

研究員	<研究領域>	テーマ
糸満市立 高嶺小学校 室根広菜	<生徒指導> ポジティブな生徒指導を核とした 児童の自己指導能力の育成 ～自己実現の喜びを味わわせる 特別活動の生活指導及び授業実践を通して～	
南風原町立 南風原小学校 當銘春菜	<特別支援教育> 自ら学びの方法を選択し、 意欲的に学びに向かう児童の育成 ～学びのユニバーサルデザイン(UDL)を取り入れた 算数科の授業を通して～	

10月の主な予定

2	月	後期研究員入所 教育相談(しのめ教室)
3	火	入所式、指導講師委嘱状交付・連絡会
4	水	所内講座「研究の進め方・報告書の書き方」
5	木	教育事務所挨拶訪問
11	水	所内講座「学習指導要領」
12	木	所外研修「図書関連施設見学」
13	金	幼児教育自主講座
16	月	指導講師検討会～10/20
17	火	所内講座「プレゼンの技法」
20	金	域内適応指導教室合同体育(しのめ)
25	水	琉舞クラブ 域内合同工作教室
26	木	所内検討会
27	金	所長講話 I
31	火	定例議会



【報告会参加者の感想】

- ポジティブ行動支援、UDLはともにわが国及び沖縄の学校現場においても極めて必要な実践であることから、今回の報告を通して広く成果が共有されていくことを願っています。
- これまで聞いたことはあるが知らなかった「クラス会議」や「ポジティブ行動支援」がどのような活動なのか分かった。また、学びの方法を自分で選ぶ学習方法があると初めて知った。ぜひ実践していきたい。
- 子どもたちが意欲的に参加している姿が伝わってきました。自分のクラスでも視覚的に記録に残すことや学びの選択肢を積極的に取り入れていきます。



所長講話

学び続ける・・・って どういうこと？

第3回所長講話が行われました。所長のこれまでの経験や学校現場で意識し取り組んできたこと、多くの書籍からの学び等をご講話頂きました。子ども(人)に対する想いが感じる学びの多い時間になりました。

【研究員感想】

- 私も所長のように様々なことに興味を持ち、アウトプットしながら、子どもたちが自分らしく学べるような環境を作っていきたいです。
- これから先も学び続けることが楽しみにになりました。当たり前を疑い、想いを馳せ、後輩や子どもたちに楽しく生き生きと学び続ける姿を見せることも意識し、これからの人生を歩んでいきたいです。

その働き方、持続可能ですか？



「NO残業デイ」と聞いて何を思いますか？・・・「水曜日?」「そんな無理?」「当たり前?」

沖縄県内学校では「水曜日は、NO部活 NO残業デイ」が定着し、合い言葉になっているのではないのでしょうか？私の職場、南部広域行政組合において「水曜日だ！NO残業デイですね」と得意気に帰宅しようとする「水曜NO残業ってなんですか?」「毎日NO残業ですよ!」と笑われてしまいました。

教職員のみなさん、「水曜日はNO残業」が死語になるよう、「定時退勤」にチャレンジしてみませんか。現在の働き方って持続可能ですか？これから教員をめざす若者にとって、これからの生きる私たちにとって、家族にとって、子どもにとって・・・持続可能な働き方になっているのでしょうか。

定時退勤に向け出来ることのないか、校内で話し合ってみませんか。

